



# 北海道林木育種場旧庁舎

この庁舎は、昭和2年に建築され、石材、木材を巧みに組み合わせた構造、外観を持ち、大正、昭和初期に流行した、いわゆるハーフテンバーを基調としたもので、端正で均整のとれた上質な外観意匠を持っています。内部についても、林木育種場庁舎ということから、木製ドア、腰壁板、木製窓枠などの優れた意匠が見られ、豊かな空間を形成していて、当時の状態の部分が相当数残されています。

また、階段手すり、床仕上げ、縁型などに技量の高さを同わせる左官工事もなされています。大正、昭和初期の建築物、特に庁舎建築物の中で現存するものが少ない点からも貴重なものと言えます。



建築当時の写真

南側全景

風雨の関係で傷みがあり、2階外壁部分は一部、危険防止のために壁部分を改修済み。

北西側全景

## 江別市の概要

江別市は、石狩平野の中央に位置する人口約12万人、隣接する札幌市へは電車で15分、新千歳空港まで高速で40分と道路網が整備された道央圏の交通の要所でもあります。

また、市内には、日本三大河川のひとつ、石狩川が流れ、先人が遺し、世界に向けて誇れる約2,050ヘクタールの大自然、野幌森林公園では数多くの動植物を観察することができます。周辺には、4つの大学と北海道立総合研究機構食品加工研究センター、北海道立教育研究所、北海道電力(株)総合研究所、(株)北海道情報技術研究所などの各種研究機関が集積し、緑豊かな自然と学びのまちでもあります。

## 位置図



【建物上空から酪農学園大学を望む（札幌方面）】



明治年代から、野幌国有林において、北海道林業に係わる研究が広く行われ、北海道林木育種場旧庁舎は、昭和年代に入ってから林業研究の要となっていたことから、江別市の歴史的背景を特徴づける重要な建物です。

また、文京台地区に広がる緑の丘陵地のほぼ頂部に位置するこの建物は、国道12号を札幌方面から江別市内へ向かう車中からも遠望できる江別市の貴重なランドマークのひとつでもあります。



問い合わせ先 江別市教育委員会生涯学習課  
(北海道江別市高砂町24-6・TEL011-381-1060)

北海道江別市

## 建物概要

- ・ 所 在 地 / 北海道江別市文京台緑町561番地の2
- ・ 建築年月 / 昭和2年11月
- ・ 構 造 / 1階：煉瓦組構造、2階・小屋裏：木造、  
屋根：一文字葺（平成12年12月改修）
- ・ 建築方法 / ハーフタンバー（柱、梁、筋交等の軸組を全部  
組み立ててから、その間にセメントや石を詰め  
込んで壁をつくる建築法）を基調とした、当時  
としては斬新な洋風近代建築物です。
- ・ 面 積 / 1 階      743.64 m<sup>2</sup>  
                 2 階      649.12 m<sup>2</sup>  
                 小屋裏    139.12 m<sup>2</sup>  
                 合 計    1,531.88 m<sup>2</sup>
- ・ 建築用途 / 事 務 所

基礎はレンガを使用しており、造りはしっかりしている。